

横手市増田町は、江戸時代以降に商業活動が盛んになったといわれ、その中心部、現在の中町、七日町商店街通りには、商家の街並みや内蔵（土蔵を上屋で覆ったもの）が保存されている。2013年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。内蔵の見学に訪れる観光客も多く、特に例年10月に開催される「蔵の日」には県内外の観光客で賑わう。

### ●佐忠商店

昭和47年に「干し餅」の製造・加工・販売を開始。地域伝統菓子である「干し餅」を、地域外の方々にも食べやすいように、揚げてから味付け（塩や白・黒砂糖）した商品「あげほし餅」を販売している。主力商品は、「①あげほし餅（味三色パック）」、増田の内蔵の写真をパッケージにした「②蔵餅さん」などがある。また、干し餅製造技術を応用してあられ状のお菓子「③ふくれ餅」、あずき味のあられ「④ふっ蔵」を製造し、お土産品として人気を得ている。

「干し餅」は昔から寒冷地帯で作られていた冬の代表的な餅菓子。秋田県内でも多くの「干し餅」商品が販売されている。佐忠商店では、昔ながらの「干し餅」に加えて、「干し餅」を基本に開発した商品の販売を行っている。手頃な値段から増田町のお土産品としての需要も高く、「あげほし餅」商品などは、個包装（1個1個包装）で、“小分けができる”として人気も高い。

昔ながらの干し餅



## 重要伝統的建造物群保存地区への出店を計画

40年以上増田町を中心に商業活動を行ってきた佐忠商店。増田町の内蔵がある地区（約10.6ha）が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことから、商工会支援のもとに、同地区に出店を計画、経営計画の作成を行った。出店場所は、同地区内の中心商店街で、食事スペースや休憩所の設置など、付加価値サービスの提供も併せ持つお土産品「販売店舗」にすることとした。

また、計画作成にあたり、「まちの駅」としての施設認定を視野に入れ、認定要件を満たす店舗レイアウトとした。出店場所は、同地区の中心部であり、商店街に位置することから、観光で訪れるお客様のみならず、地域の方の休息場所としての利用検討も行った。

お土産 ● お休み ● お食事



商家の街並み

## まちの駅—福蔵 (ふっくら)

横手市増田町の蔵通りに「まちの駅」—福蔵を開店。ご来店いただいたお客様が「ふっくら」ができるような店づくりを目指す。



### 看板の設置



休憩スペース



### トイレの設置・整備



店内



厨房



揚げたて実演販売

補助事業を活用し、「まちの駅」であることを示す看板を設置、円滑な来店誘導につながっている。また、「まちの駅」認定要件であるトイレ、2カ所の設置・整備を行った。地域の方も気軽に立ち寄れる休息場所となっている。

## 活用した補助金の内訳

- 看板設置等外注費
- トイレ改装工事費

## 補助事業の取り組みを終えて

### まちの駅 (福蔵)

#### 駅長 佐藤翔太郎氏

まちの駅として、この地を訪れるお客様がお土産とともに、楽しい「旅の思い出」をお持ち帰りいただくように頑張りたいと思います。今後もFacebookを活用し、増田町の魅力を全国に発信するとともに、店頭を活用したミニイベントの開催や、お客様にいつでも来店いただいても楽しんでいただける変化のある店舗を考えています。



中央：佐藤忠助代表  
左：佐藤翔太郎駅長  
右：高山指導員

### 担当指導員の声

#### (よこて市商工会 高山良一)

町の中心部には観光客が“ゆっくり休憩できる場所が少ない”との声もあり、地域としても必要なお店です。開店して間もないこともあり、継続した支援を行いたいと思います。